

2024年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年12月13日

上場会社名 のむら産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7131 URL <https://www.nomurasangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 悦男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西澤 賢治

TEL 042 (497) 6191

定時株主総会開催予定日 2025年1月28日 配当支払開始予定日

2025年1月29日

有価証券報告書提出予定日 2025年1月30日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の連結業績（2023年11月1日～2024年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	6,612	10.7	505	12.8	510	14.4	339	16.8
2023年10月期	5,972	9.4	448	19.3	446	20.7	290	21.0

(注) 包括利益 2024年10月期 336百万円 (10.6%) 2023年10月期 304百万円 (24.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	256.54	—	19.2	13.0	7.6
2023年10月期	219.55	—	19.2	12.1	7.5

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 ー百万円 2023年10月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	4,113	1,912	46.1	1,434.53
2023年10月期	3,775	1,644	43.4	1,238.11

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,896百万円 2023年10月期 1,637百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	479	△62	△209	1,462
2023年10月期	450	△42	△196	1,255

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	0.00	—	52.00	52.00	68	23.7	4.5
2024年10月期	—	0.00	—	59.00	59.00	78	23.0	4.4
2025年10月期 (予想)	—	0.00	—	62.00	62.00		23.3	

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,246	1.1	274	1.3	274	0.7	174	0.2	132.05
通期	6,700	1.3	544	7.8	544	6.6	352	3.8	266.37

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年10月期	1,391,575株	2023年10月期	1,391,575株
2024年10月期	69,266株	2023年10月期	69,246株
2024年10月期	1,322,320株	2023年10月期	1,322,329株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年10月期の個別業績 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	5,593	11.3	385	8.4	409	8.6	282	8.0
2023年10月期	5,027	9.3	355	23.5	376	26.6	261	26.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期	213.49	—
2023年10月期	197.66	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年10月期	3,841		1,897		49.4	1,434.76		
2023年10月期	3,599		1,694		47.1	1,281.39		

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,897百万円 2023年10月期 1,694百万円

2. 2025年10月期の個別業績予想 (2024年11月1日～2025年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 (累計)	2,772	3.1	243	7.0	168	7.0	127.17	
通期	5,732	2.5	427	4.4	295	4.6	223.32	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年11月1日～2024年10月31日）における我が国経済は、景気の足踏み状態が続いたものの、雇用環境の改善や賃金の上昇を受け個人消費が持ち直した結果、緩やかな回復基調に転じました。一方で世界的な資源価格の高騰や、長期的な円安トレンドの継続による物価の上昇など、景気回復を停滞させ得るリスク要因が依然として存在し、先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下におきまして、当社グループは、「人にやさしい新技術」を企業理念に定め、きめ細かいサービスを継続すること、また、企業活動を通じた社会貢献に努め、安定した経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は66億12百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は5億5百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益は5億10百万円（前年同期比14.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億39百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（包装関連事業）

包装関連事業の主要取引先であるコメ流通業界は、資源価格の高騰や食品関連の相次ぐ値上げに加え、令和5年産米の生産量の減少や災害に備えた備蓄需要があったことから需給バランスが崩れ、家庭用の強い需要に対応すべく包装資材の安定供給に注力した結果、販売面も好調に推移いたしました。機械関係は、前連結会計年度に獲得した受注、及び当連結会計年度に獲得した受注を確実に収益に結び付けられていることに加え、新たなニーズ獲得のため、展示会等などを活用した営業活動に注力し、機械販売も堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は56億62百万円（前年同期比11.5%増）、セグメント利益は4億74百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、物流業界の働き方改革による物流コストの上昇などの影響で、物流業界全体の荷動きとしては鈍化傾向で推移いたしました。一方で、ネット通販市場の拡大傾向がみられるなど、物流需要は底堅く推移したことに加え、環境志向の浸透により、脱プラや紙資材への関心の高まりから新商材の提案型営業に注力し、業績は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は9億50百万円（前年同期比6.5%増）となり、セグメント利益は31百万円（前年同期比100.8%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億29百万円増加し、31億40百万円（前連結会計年度末比11.7%増）となりました。これは主に現金及び預金の増加2億7百万円（前連結会計年度末比16.5%増）、売上債権の増加3億14百万円（前連結会計年度末比39.1%増）等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、9億73百万円（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。これは主に子会社における建物の建替えなど設備投資によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ3億38百万円増加し、41億13百万円（前連結会計年度末比9.0%増）となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べ1億4百万円増加し、21億25百万円（前連結会計年度末比5.2%増）となりました。これは主に仕入債務の増加99百万円（前連結会計年度末比6.3%増）、未払税金の増加58百万円（前連結会計年度末比40.5%増）等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、76百万円（前連結会計年度末比30.4%減）となりました。これは主に長期借入金が返済により、その残額が全て1年内の返済予定になったこと等によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ71百万円増加し、22億1百万円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計額は、前連結会計年度末に比べ2億67百万円増加し、19億12百万円（前連結会計年度末比16.3%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の獲得によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加し、14億62百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億79百万円（前年同期は得られた資金4億50百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益5億10百万円（前年同期は4億46百万円）、及び棚卸資産の減少1億88百万円等により運転資本が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は62百万円（前年同期は使用した資金42百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出59百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億9百万円（前年同期は使用した資金1億96百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1億24百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東地域をめぐる情勢や欧米における金利変動リスク等の影響によって海外景気の先行きが見通せない中、国内においても消費者物価の上昇、為替の影響など、引き続き不透明な状態が続くことが予測されます。

一方、当社グループの主要取引先であるコメ流通業界においては、少子高齢化による人口減や食の多様化により国内のコメの消費量が毎年減少傾向で推移しております。また、2024年10月期では、コメの需給バランスが崩れたこと等による、コメの販売価格上昇の影響は大きく、これまでになく先行きが不透明な状況となっております。このような事業環境の中、当社グループは、既存の商品、サービス体制を見直すことによる事業強化を図ることに加えて、市場ニーズの発掘と商材開発、グループ内や業務提携先企業との連携を深めることで新規事業・新規市場の基盤構築を図っていきます。

以上を踏まえ、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高67億0百万円（対前期比1.3%増）、営業利益5億44百万円（対前期比7.8%増）、経常利益5億44百万円（対前期比6.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3億52百万円（対前期比3.8%増）を見込んでおります。なお、詳細については、本日開示しております「2024年10月期 通期決算説明資料」をご参照ください。また、前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績につきましては、今後の様々な状況変化により、記載の見通しとは異なる可能性があることにご留意ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,439	1,462,453
受取手形	33,742	47,157
電子記録債権	154,935	248,869
売掛金	617,336	824,974
商品及び製品	173,028	141,696
仕掛品	430,333	284,382
原材料及び貯蔵品	128,005	117,168
その他	18,282	13,888
貸倒引当金	△305	△419
流動資産合計	2,810,799	3,140,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	434,279	466,326
減価償却累計額	△197,107	△204,385
建物及び構築物（純額）	237,171	261,940
機械装置及び運搬具	42,091	43,320
減価償却累計額	△13,044	△18,869
機械装置及び運搬具（純額）	29,047	24,450
土地	400,435	400,435
リース資産	69,534	70,496
減価償却累計額	△37,056	△36,435
リース資産（純額）	32,477	34,060
その他	32,807	49,499
減価償却累計額	△18,077	△22,065
その他（純額）	14,730	27,434
有形固定資産合計	713,861	748,321
無形固定資産		
のれん	48,088	14,143
その他	11,728	7,529
無形固定資産合計	59,817	21,673
投資その他の資産		
投資有価証券	156,630	140,350
繰延税金資産	8,113	35,308
その他	26,039	28,657
貸倒引当金	△209	△521
投資その他の資産合計	190,572	203,795
固定資産合計	964,252	973,789
資産合計	3,775,051	4,113,961

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	383,011	440,686
電子記録債務	1,212,725	1,255,012
1年内返済予定の長期借入金	124,962	35,028
リース債務	14,869	12,907
未払法人税等	109,958	139,140
未払消費税等	33,456	62,328
契約負債	16,076	—
賞与引当金	69,835	71,681
製品保証引当金	3,964	11,907
その他	51,962	96,624
流動負債合計	2,020,822	2,125,317
固定負債		
長期借入金	35,028	—
リース債務	28,996	30,574
繰延税金負債	6,339	—
退職給付に係る負債	16,294	20,134
資産除去債務	22,821	25,443
固定負債合計	109,480	76,152
負債合計	2,130,302	2,201,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	1,575,696	1,846,159
自己株式	△67,722	△67,756
株主資本合計	1,587,973	1,858,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,217	38,485
その他の包括利益累計額合計	49,217	38,485
非支配株主持分	7,557	15,603
純資産合計	1,644,748	1,912,491
負債純資産合計	3,775,051	4,113,961

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	5,972,939	6,612,904
売上原価	4,426,932	4,945,952
売上総利益	1,546,006	1,666,952
販売費及び一般管理費	1,097,897	1,161,696
営業利益	448,108	505,256
営業外収益		
受取配当金	240	338
受取保険金	1,500	2,839
保険返戻金	1,092	1,096
その他	908	2,544
営業外収益合計	3,740	6,818
営業外費用		
支払利息	1,308	1,097
損害賠償金	1,692	—
為替差損	1,163	—
その他	928	40
営業外費用合計	5,092	1,137
経常利益	446,757	510,937
税金等調整前当期純利益	446,757	510,937
法人税、住民税及び事業税	156,654	191,653
法人税等調整額	△4,277	△27,986
法人税等合計	152,376	163,667
当期純利益	294,380	347,270
非支配株主に帰属する当期純利益	4,057	8,046
親会社株主に帰属する当期純利益	290,323	339,223

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）	当連結会計年度 （自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）
当期純利益	294,380	347,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,944	△10,731
その他の包括利益合計	9,944	△10,731
包括利益	304,325	336,538
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	300,267	328,492
非支配株主に係る包括利益	4,057	8,046

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	80,000	1,340,910	△67,722	1,353,188
当期変動額				
剰余金の配当		△55,537		△55,537
親会社株主に帰属する当期純利益		290,323		290,323
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）				
当期変動額合計	—	234,785	—	234,785
当期末残高	80,000	1,575,696	△67,722	1,587,973

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	39,272	39,272	—	1,392,460
当期変動額				
剰余金の配当				△55,537
親会社株主に帰属する当期純利益				290,323
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	9,944	9,944	7,557	17,502
当期変動額合計	9,944	9,944	7,557	252,287
当期末残高	49,217	49,217	7,557	1,644,748

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	80,000	1,575,696	△67,722	1,587,973
当期変動額				
剰余金の配当		△68,761		△68,761
親会社株主に帰属する当期純利益		339,223		339,223
自己株式の取得			△34	△34
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）				
当期変動額合計	—	270,462	△34	270,428
当期末残高	80,000	1,846,159	△67,756	1,858,402

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	49,217	49,217	7,557	1,644,748
当期変動額				
剰余金の配当				△68,761
親会社株主に帰属する当期純利益				339,223
自己株式の取得				△34
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△10,731	△10,731	8,046	△2,685
当期変動額合計	△10,731	△10,731	8,046	267,743
当期末残高	38,485	38,485	15,603	1,912,491

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	446,757	510,937
減価償却費	28,416	41,015
のれん償却額	33,945	33,945
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△33	425
賞与引当金の増減額（△は減少）	11,312	1,846
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2,822	3,840
受取利息及び受取配当金	△240	△346
支払利息	1,308	1,097
固定資産売却損益（△は益）	△218	△564
固定資産除却損	123	30
リース解約損	197	—
売上債権の増減額（△は増加）	173,071	△314,986
棚卸資産の増減額（△は増加）	△93,008	188,119
前渡金の増減額（△は増加）	△243	6,374
未収入金の増減額（△は増加）	△1,152	△1,403
仕入債務の増減額（△は減少）	13,153	99,962
未払金の増減額（△は減少）	△4,298	37,808
未払費用の増減額（△は減少）	1,704	8,202
契約負債の増減額（△は減少）	△38,123	△16,076
製品保証引当金の増減額（△は減少）	1,538	7,942
未払消費税等の増減額（△は減少）	19,826	30,495
その他	3,619	3,450
小計	600,476	642,116
利息及び配当金の受取額	240	346
利息の支払額	△1,277	△1,069
法人税等の支払額	△149,003	△162,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,436	479,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,696	△59,292
有形固定資産の売却による収入	250	1,025
有形固定資産の除却による支出	—	△1,200
無形固定資産の取得による支出	△1,600	△862
その他投資等の増減額（△は増加）	△248	△1,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,294	△62,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△128,412	△124,962
リース債務の返済による支出	△15,625	△16,164
非支配株主からの払込みによる収入	3,500	—
配当金の支払額	△55,537	△68,761
自己株式の取得による支出	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,075	△209,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	212,066	207,013
現金及び現金同等物の期首残高	1,043,372	1,255,439
現金及び現金同等物の期末残高	1,255,439	1,462,453

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示の変更）

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前連結会計年度まで営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて記載しておりました「製品保証引当金の増減額（△は減少）」は、その金額的重要性が高まったことから、単独掲記しております。なお、これに伴い、前連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」5,158千円は、「製品保証引当金の増減額（△は減少）」1,538千円と「その他」3,619千円に組替えて表示しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービスの内容やサービスを提供する顧客の類似性により事業セグメントを集約しており、当社を中心に「包装関連事業」及び「物流梱包事業」の2つを報告セグメントとしております。包装関連事業は、包装資材と包装機械で構成されており、包装資材は米穀精米袋を中心とする食品包装資材の企画販売業、包装機械は計量包装機械の企画開発製造及び販売業を行っております。物流梱包事業は、梱包機械・緩衝材等の輸入販売業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則、及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	3,382,445	—	3,382,445	—	3,382,445
包装機械関係	1,697,590	—	1,697,590	—	1,697,590
梱包資材関係	—	788,560	788,560	—	788,560
梱包機械関係	—	104,342	104,342	—	104,342
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	5,080,036	892,903	5,972,939	—	5,972,939
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,080,036	892,903	5,972,939	—	5,972,939
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	369	369	△369	—
計	5,080,036	893,273	5,973,309	△369	5,972,939
セグメント利益	432,576	15,532	448,108	—	448,108
セグメント資産	3,154,477	620,573	3,775,051	—	3,775,051
その他の項目					
減価償却費	19,268	9,148	28,416	—	28,416
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	44,007	12,431	56,438	—	56,438

Ⅱ 当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
包装資材関係	3,870,133	—	3,870,133	—	3,870,133
包装機械関係	1,791,999	—	1,791,999	—	1,791,999
梱包資材関係	—	824,235	824,235	—	824,235
梱包機械関係	—	126,535	126,535	—	126,535
その他	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	5,662,133	950,770	6,612,904	—	6,612,904
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,662,133	950,770	6,612,904	—	6,612,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	380	1,631	2,011	△2,011	—
計	5,662,513	952,402	6,614,915	△2,011	6,612,904
セグメント利益	474,058	31,197	505,256	—	505,256
セグメント資産	3,489,061	624,900	4,113,961	—	4,113,961
その他の項目					
減価償却費	26,784	14,231	41,015	—	41,015
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	22,608	48,328	70,937	—	70,937

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年11月1日 至 2023年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	33,945	33,945	—	33,945
当期末残高	—	48,088	48,088	—	48,088

当連結会計年度（自 2023年11月1日 至 2024年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	33,945	33,945	—	33,945
当期末残高	—	14,143	14,143	—	14,143

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり純資産額	1,238.11円	1,434.53円
1株当たり当期純利益	219.55円	256.54円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	290,323	339,223
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	290,323	339,223
普通株式の期中平均株式数（株）	1,322,329	1,322,320

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
純資産の部の合計額（千円）	1,644,748	1,912,491
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	7,557	15,603
（うち非支配株主持分（千円））	(7,557)	(15,603)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,637,190	1,896,887
1株当たりの純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式数（株）	1,322,329	1,322,309

（重要な後発事象）

該当事項はありません。